

平成30年度第1回 白井市子ども・子育て会議  
 摘録

会議の名称		平成30年度第1回白井市子ども・子育て会議
開催日時		平成30年11月20日(火) 9:30~11:20
開催場所		白井市役所 東庁舎 会議室101
出席者	委員	風間会長、鳥海委員、古川委員、菅森委員、宮根委員、和地委員、増子委員、駒村委員、嵩田委員、寺田委員、上野委員、橋口委員、森委員 (13名)
	事務局	健康子ども部 五十嵐部長 子育て支援課 眞仲課長、山本主査、須藤主査補 (4名)
次第		1.開 会 2.会長あいさつ 3.市長あいさつ 4.議 題 (1)白井市子育て支援に関するアンケート調査について (2)その他 5.閉会

会 議 内 容
9:30 開会 <新規委員への委嘱状交付> <会議成立の確認> 委員13名出席により会議成立。 <傍聴者の入場> 傍聴者2名。 <会長挨拶> (会 長) 会議を始める。市から提出されている議案に沿って、委員の皆さまには活発な議論をお願いしたい。 <市長挨拶> (代理：健康子ども部部長) (部 長) 現在第5次総合計画が進行中である。子育てしたくなるまちづくりが重点施策の一つとなっている。その子育て支援はこの子ども・子育て支援事業計画により進めることになる。平成32年度からの計画の策定にあたり、本日はアンケート調査の内容をご議論いただき、計画に反映させていきたい。 ※以降、会長の進行による ●議題1：白井市子ども・子育て支援に関するアンケート調査について <事務局より資料に沿い説明> (事務局) 調査の主旨。対象者と調査票の種類。小学生票については学童保育、病

児・病後児保育に関するものは就学前調査票の国モデル調査票に準じて設問を設けている。

(事務局) 子ども本人への調査は第1期ではなかったもの。本日の資料は小学5年生宛の調査票の案であり、中学2年生用はこれを基に表記表現などを変えて別冊で作成する。

#### 【質疑】

(委員) 対象で2千名を無作為抽出するというのは全体の何パーセントにあたるか？ 就学前調査票問29の説明で保育園の名前だけでなく一時保育の名称を入れた方がよい。問31の選択肢にある「ショートステイ」については、八千代市と提携していると思うがそのことがこの表現でわからないのではないか？

(事務局) 今、児童手当支給の中で就学前児童が概ね4千名強であるので、サンプル抽出する2千名は50%程度を全体から抽出する形となる。一時預かりの名称については、説明内に入れることにする。ショートステイも内容がわかるようにする。

(委員) このアンケートは第2期計画のためのもので毎年行うわけではないということか？

(事務局) (改めて全体を説明) 子ども・子育て支援事業計画は5年周期で改定。国の施策でエンゼルプラン、次世代育成支援事業などの計画策定が国から示されてきた。今の計画(子ども・子育て支援事業計画)はニーズ量の把握と確保に力をいれたもの。さらに次世代育成の流れをくむ18歳までの子どもを対象とするものでもある。そのため、平成30~31年度にかけて、32年度からの計画づくりのために調査を行うもの。幼児期の教育・保育については国が統一的に見込み量の算出を決めているものがある。それに沿った項目と市独自のニーズ把握のための項目が調査票の中にある。小学生以上は生活状態の把握も含めたもの。昨年、ひとり親家庭と就学費援助受給世帯、このほか児童手当受給世帯へのアンケートを事前調査として行った。今回は子どもとその保護者の意向を調査する。一部に貧困問題も意識したものもある。市での子ども本人へのアンケートは十数年ぶりである。いずれも平成32年度からの市の計画作りのためのアンケートである。

#### <就学前の保護者向けアンケート>

(会長) 内容面での質問はあるか？

(委員) 問14の選択肢表に一時保育がない。また、今、家庭的保育はどうなっているか？

(事務局) 一時保育は選択肢に加えることとする。家庭的保育は市周辺のものも含めての選択肢として設けてある。

(委員) 問35の脚注の「ご提案」とは？ 質問の文言で、(どのような利用が)望ましいと思いますか？ でなく、理想的だと思いますか？ といったやわらかい表現にしては？

(事務局) 「ご提案」となっていたのは「市新」とすべきところの誤植であった。表現をやわらかくすることは検討したい。

(会長) これは市の新規設問ということ、言い回しもやわらかくすることによってよしいか。

(委員承認)

(委員) P17、問 34、育児休業について、休業をとれない理由を聞いた方がよいのではないか。

(事務局) 育児休業をとれない、とれなかった理由を聞く設問を追加する。

(委員) 病児・病後児保育に関する設問があるが、その他に障害を持つ子どもという問題が注目されているので、障害を持つお子さんに関する項目が入るとよいと思う。

(会長) 設問の分量にも限度があるので設問の追加も難しいところもあるかもしれないが、どうか？

(事務局) 前回の調査を踏襲するのが基本と考えている。障害児に関連する内容については、障害福祉関係の計画での対応を基本としたい。

(委員) P16 の就学後のことについての質問は 5 歳以上に限らず聞いてはどうか？

(事務局) 国の算定の方法で 5 歳児の保護者に聞くこととされているものなので、この通りとしたい。

<小 5・中 2 の保護者向けアンケート>

(委員) P12 の問 17、アに答えて進む先は問 16-1ではなく 17-1では？

(事務局) 17-1 の誤りであった。修正する。

(委員) p2 問 4 の家族は子どもも含めての人数かどうか。ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育などは説明があるとよい。

(事務局) 同居している家族人数は子ども含むかなどわかるようにする。ファミリー・サポート・センター、病児病後児も事業内容の解説を入れる。

(委員) P12 問 18-1 の選択肢「スポーツ活動」は、「スポーツフェスタ」など例を入れたらどうか。

(事務局) 問 18-1 の意図は地域主体の行事について把握したいもので、市が行う「スポーツフェスタ」は想定していないものである。

(委員) P14 問 21、習い事と学習塾の違いはどう考えるか。公文などは判断に迷う。「学習塾」と「それ以外の習い事」としてはどうか？

(事務局) 「学習塾」は勉強をするもの、「習い事」は習字やピアノなどのおけいこごとをイメージしていた。習い事にそのような例示を入れるようにしたい。

(委員) 配布の仕方について。子どもは学校経由、保護者は郵送返送となっているのは具体的にどのようなことか？

(事務局) 子どもの意識が非常に重要な調査であるため、教育委員会とも協議した。学校から子どもへの配布を依頼するが、保護者の調査票は持ち帰ってもらって郵送返却と考えている。子どもは授業の一環のような形で学校で記入してもらいその場で回収するという形を考えたもの。

(委員) すると、子どもは学校で書かせるのは回収が確実だが、今、学校ではいろいろな調査がされており、学校独自でも生活についてなど調査を行う。どういうアンケートを取ったか親が知るようにして回収している。今回の形だと、保護者は子どもが受けたアンケートの内容や回答内容がわからない。また、かなり細かく生活状況などを質問しているのでこれに答えるのはかなり大変ではないか。答えることで何が変わるのか？

アンケートを取ることで何が変わるのかを示せるとよい。

(事務局) ご指摘の通り、所得や困りごとなどもきいている。去年はひとり親、就学支援を受けている保護者にアンケートを行った。このアンケートでも同様のことを聞いているが、それは国の「子どもの貧困対策」も意識したもの。今回のアンケートは、親子を対にして分析できるようにしている。保護者の回答の生活状況と、子どもの意識を紐づけるようにしている。所得や生活状況、必要なものが揃えられたかどうかなどを保護者票からは判断するようになっている。

(事務局) 子どもは先生の立ち合いのもと、無記名で回答してもらおう。先生も誰が答えたかわからないという形になる。保護者が子どもの回答について聞きたいというのは、個々の回答内容ではなく、アンケート全体の結果をフィードバックすることなども考えたい。調査のアウトプットは子どもの貧困対策でもあり、この調査で何が変わるとはすぐには言いにくいですが、目的や新しい問題への対応のためというアンケートの趣旨を説明できるように方策を考える。また、子どもの調査票については先生が授業で記入を指導・進行できるようなマニュアル的資料を準備することも考えている。

(会長) 子どもがこのようなアンケートに回答したということを親に伝えることと、調査の主旨につき説明の方策を考えるということではよいか？

(委員承認)

(委員) P17 問 28、⑤は「特別児童扶養手当」としてはどうか？

(事務局) 表現を柔らかくしたものだが、( ) で正式名称を補足する。

<小5(中2)の本人向けアンケート>

(事務局) 子ども対象のアンケートは十数年ぶりのもの。小5、中2は受験や進学前ではなく落ち着いて取り組める時期として選択したもので、先行調査例にも倣った。保護者票との紐づけで家庭の状況については把握する。子ども向けはできるだけシンプルにしたい。普段の生活、食事、大人との関わり、居場所など。問8の学童保育所については中2からは削除する。問15-1の授業がわからなくなった時期も中2では選択肢を変更する。問18は持っているものについて訊ねるが、小5と中2で表現は変えていくことも検討中。問24では居場所に対する要望、問25では子どもの地域活動への参加意識を訊ねる。これは「子育て」「子ども自らの成長」といった視点を意識したもの。以上のように、貧困対策と子ども自身の声の収集といった目的をもった調査である。

(委員) これは5年生向けとのことで、「塾」、「じゅく」など不統一もある。子どもによって読める、読めないということあるのでルビを振ってはどうか？

(事務局) 前の生活実態調査でもルビを振った。ひらがなにすると、かえって伝わりにくい漢字はルビとする。

(委員) 問18の「たいていの友だちが持っているおもちゃ」とか「友だちが着ているのと同じような服」は単におもちゃとか服にしては？

(事務局) おもちゃなどは言い回しを変えることも考える。友だちが持っているようなもの、というのははずせない要素である。

(委員) これを子どもに教室で書かせるのはいかがなものかと感じた。答えたくないものもあるだろうし、人に見られることを心配するなど子どもの気持ちの上でどうなのか？

- (事務局) ほかに人には見られない、安心して書けるといった工夫を学校と相談して行いたい。
- (委員) 回収については、学校で書き、その場で回収が最も良いと思う。誰にも見られないというのは100%保証するのは難しい。子どもからはかなり質問が出ると思うが、先生が答えるわけにはいかない。教師にも負担が出そうだ。
- (事務局) 質問に答えるための統一的な説明、ガイドは事務局で準備する。できるだけ先生のご負担にならぬよう考えたい。
- (委員) 小5・中2は多感な時期である。そこに携帯や服を持っているかという言い回しはちょっとかわいそうではないかと思う。
- (事務局) 普段の生活、個人の持ち物、過ごし方など、子どもが心をいためそうな設問や項目は少し整理をしたいと思う。小5には厳しい設問もあるかと思うので配慮を考えたものとしたい。
- (会長) 内容も含めて検討しなおすということか？
- (事務局) 全体の構成や大きな項目はこの形で行いたい。選択肢などにおいてメンタルなところに踏み込むようなものは少し精査し、学校の負担がないよう、子どもの負担がないよう検討したい。
- (委員) 問3の朝食の頻度は、「ほとんど毎日」など判断がむずかしいのではないか。問15-1の授業がわからなくなった時期は、教科によって異なるのではないか。問18は微妙な問題もあると思うので十分精査を。問23の将来進みたい学校で「留学」はわからないのではないか。取ってよいのではないか。
- (事務局) 食事については平日、休みの日、毎日なのかどうかなど迷わずに書けるよう選択肢や表現を検討する。
- (委員) 問18の「自分だけの本(教科書やマンガはのぞく)は再考を。問19-1の選択肢、じゅくなどに「通いたい、親にげっしやなどの負担をかけたくない」は、お金や送り迎えの負担をかけたくない、としてはどうか。問24は、野球やサッカーなどができる場所といった屋外のものを入れた方がよい。
- (事務局) ご指摘に沿い各所修正などを検討したい。問24には屋外のことを追加するようにしたい。また、「など」で曖昧になってしまうところを改めてわかりやすくしたい。
- (委員) アンケートは子どもの理解力で差がでると思うが、子どもに実際に試しにやってもらおうということではできるか？ 先生から見て理解力上中下の子どもに事前にやってもらおうということを行ってはどうか？ 研究のために、何人かの子どもに協力者になってもらって行い、その子の回答は集計から外すという、テスターになってもらおうということでは。
- (事務局) 教育委員会や現場の先生にご協力をいただいてチェックしてもらおう。実際の子どもの事前テストしてもらおうのは難しい。次回の機会には子どもの参加ということもあるので検討したい。
- (会長) スケジュールなどについて事務局から説明を。
- (事務局) 本日のご意見のほかにお気づきのところがあれば、週明けを目途に、事務局までご意見をお寄せいただきたい。アンケートの実施は来年早々と考えている。1月中に終わるようにスケジュールを組みたい。
- (会長) では、一両日意見を求める。学校や教育委員会などと協議して内容再検討ということではよろしいか。アンケート票はもう一度委員に事前に見て

もらうこととするのか。

(事務局) 事務局と会長に一任いただき、ご意見についての反映内容経緯などを付して最終資料として委員にはお配りしたい。

(会 長) 委員のみなさんはそれでよろしいか。

(満場挙手で承認)

●議題 2 : その他

特になし。委員からも特になし。

(事務局) 事務連絡。アンケートは年明け 1 月早くに発送し、2 週間程度の調査期間としたい。次回会議は 2 月下旬を予定し、そこで単純集計結果をご報告したいと考えている。

11:20 終了

以上